

京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープラン

第三回検討会議 議事概要

- 1 日時：平成30年1月24日（水）午後1時～3時
- 2 場所：舞鶴グランドホテル 扇の間
- 3 出席委員（敬称略、五十音順）
安達委員、上村委員、上治委員、近江委員、小林委員、篠原委員、高井委員、田端委員、内藤委員
沼田委員、盛岡委員、山本委員
（御欠席）
木下委員、早坂委員
- 4 議事
 - (1) 挨拶
 - (2) マスタープラン最終案について
- 5 主な意見
 - (1) マスタープランについて
 - 港のイメージ図におもてなし分野の施策を追加して、東港と西港のゾーニングを整理し立地と整合するよう工夫してはどうか。
 - おもてなしと物流の棲み分けは時間がかかるのではないかと。短期では難しいところもあるのではないかと。
 - 施策の事業主体について、民間と行政の棲み分けをしっかりとっていくことが重要
 - 地元や外部企業とプランを推進し、巻き込んでいくためにも PR 用ツールが必要
 - (2) 地元への経済効果
 - 地元の理解を得るためにバイオマスをはじめとする再生可能エネルギーなどの各種施策で、地元にもどのような経済効果があるのか示していくことが重要
 - (3) エネルギー
 - エネルギーの現状と再エネ導入後の状況が定量的に把握できるとよい。
 - 京都舞鶴港（特に西地区）では系統が混雑しているのが現状であり、容量を増やさないとこれ以上の再エネの増加は難しいのではないかと。
 - LNGハブ化やメタンハイドレートの実用化については、京都舞鶴港にどう関係していくのか根拠を明確にしておく必要がある。
 - 再エネを用いた地域エネルギー会社（地域新電力会社）の設立により、地域経済循環を進めるとよいのではないかと。
 - (4) 港湾物流
 - バイオマス発電により、港に材が輸入されたり、地元産の木材が活用されることで、港と林業の両方が活性化するのではないかと。
 - 港の取扱量がバイオマス燃料で増えることはありがたい。バイオマス燃料の未利用材についてもロシアから海運でもってくるという考え方もよいのではないかと。
 - 京都舞鶴港をバイオマスの集積地とすることで、それが特徴となり、貨物の取扱量が増える可能性もある。
 - 先進港であるシンガポール港の技術のうち舞鶴で導入できるものがあれば導入していくべき。
 - 再エネ電力を使った船舶への陸上給電事業には賛成
 - 港湾道路の融雪を実施してもらいたい。
 - 港湾道路を整備し、道路と港を繋ぎミッシングリンクを無くす必要がある。

(5) おもてなし

- 翻訳機能については、人が行うものとサイネージやアプリなど種類が多くあり、舞鶴ではどのようなものが良いか検討してはどうか。また、現地にいる外国語を話せる人を活用するマッチングアプリを活用することを検討してはどうか。
- EV・自動運転は人件費や燃料費のコストダウンが可能で、経済効果は算出しやすいが、観光にどう役立てていくのか検討する必要がある。ICOCA（イコカ）との共用を図るなど電子マネーやカード決済システムを導入して自動運転車両に乗れるようにするなど利便性と地域活性化が一体となった取組を進めてはどうか。
- 日本での運転に慣れていない海外からの旅行者には、自動運転は有り難いのではないか。
- 観光の施策は、観光協会が行うものと事業者が行うものがある。多言語化などは商売に関係する事業者は既にやっている。EVの公共交通や自動運転は、投資が多額になることなどから、今回のプランの施策からは少し次元が離れている気がする。

(6) 情報基盤

- ICT化に関して、物流事業者にとっては、荷主の荷物がどこにどれだけ存在するのかに関するビックデータを管理できるシステムがあればよいのではないか。
- NACSシステムの利用状況については、通関は全てについて導入済みであるが、船舶入出港については、コンテナ船以外は現在導入が難しい状況であり、システムをどこまで導入していくのか整理が必要
- ICTシステムの前に、コンテナターミナルにおけるADSL回線の光回線への変更が必要
- おもてなし、港湾物流等横断的な情報共有の基盤はエネルギー系の事業者が中心になって取り組んでどうか。

※今回の検討会議での御意見等を受けた修正については、内藤座長に御一任することで各委員了承

6 事務局から連絡

- 今回の御意見などを踏まえ、3月にマスタープランを策定予定。
- 施策の目的は北部地域の活性化であり地元経済に還元できる施策を実施していきたい。民間と行政の役割分担をして協力体制を構築し進めていきたい。
- 来年度は、このマスタープランの検討を進めるために協議会を立ち上げる予定である。ご臨席の委員の皆様にも引き続き御協力をいただきたい。

以上